

狭山丘陵いきものふれあいの里 センターのイベント

- ① 里山体験講座
《月見だんごと十五夜飾り》
日 9月10日(土)午前10時〜午後2時30分
対 4歳以上(小学生以下は保護者と参加)
定 申し込み先着 20人
持 昼食、飲み物、筆記用具
費 400円
- ② ボランティア募集説明会
日 9月24日(土)午前10時〜正午
対 高校生以上
持 飲み物、筆記用具
- ③ 定例ガイドウォーク
日 9月3日(土)・4日(日)午後1時30分〜2時30分
- ④ 大人のための自然観察会
《涼風秋草八国山》
日 9月25日(日)午前9時30分〜午後0時30分
対 高校生以上
定 申し込み先着 20人
持 飲み物、筆記用具、虫よけ



費 3000円
集合 ①③同センター(下山口駅から徒歩15分) ④将軍塚バス停(所沢駅西口から西武園駅方面行き西武バス)

9月の休館日 5日(月)、12日(月)、20日(火)、23日(金)、26日(日)
申 ①②④同センター ☎29399・9412 に電話 ③当日受け付け

採れたて！農産物直売と「所沢市第3日曜日」も開催に

新鮮でおいしい所沢産農産物、加工食品を販売します。
日 ①第2火曜日 午前10時〜午後3時 / 市役所別館前広場 ②第3日曜日 午後3時〜7時 / 元町コミュニティ広場
◎他のイベントと日程が重なる場合などは変更することがあります。
農 業 振 興 課 ☎2998・9158



所沢市戦没者追悼式

日 10月4日(火) 午前10時
場 市民文化センター ミュージックホール
◎戦没者のご遺族宛に案内状を郵送します。9月9日(金)までに届かない場合はご連絡ください。
福 祉 総 務 課 ☎2998・9113



「農」と里山シンポジウム

日 9月10日(土)午後1時〜4時30分
場 コピスみよし(東武東上線鶴瀬駅南口からバス)
内 淑徳大学教授・北野 大さんの講演、パネルディスカッションなど
申 9月5日(月)までにはがきに①氏名②住所③人数を記入し、〒350・1124 川越農林振興センター ☎049・242・1808 ④049・243・7233 に郵送・FAX



くぬぎ山地区平地林保全管理活動

日 10月2日(日)午前10時〜正午
集 合 くぬぎ山・駒ヶ原の森の草地(下富1456・1)
内 外来生物の除去、平地林の手入れ
持 長袖、長ズボン、帽子、タオル、軍手、飲み物
申 9月21日(水)までにくぬぎ山地区自然再生協議会事務局 ☎048・830・3150 に電話
ファミリィ・サポート・センター
援 助 会 員 養 成 講 習 会
日 9月28日(水)・29日(木)午前9時30分〜午後4時(全2日)
場 旧市庁舎(宮本町1丁目)
対 市内在住の20歳以上で、援助会員として活動できる方
内 普通救命講習、育児の基礎知識と実技講習、グループワークなど
持 写真(縦3.5cm×横2.5cm) 2枚、筆記用具、昼食
申 所沢市ファミリィ・サポート・センター ☎2921・0070 ④2921・0076 に直接・電話・FAX

介護者をボランティアで治療

介護や介助による疲労・肩こり・腰痛などを無料で治療します。
日 第3日曜日午前9時30分〜11時30分
場 保健センター(上安松)
対 在宅介護・障害者の介助をしている家族、介護保険認定者
定 毎回10人(抽選)
申 ①はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号を記入し、〒359・0033 所沢市26・15 所沢市鍼灸師会介護ボランティア係 ☎2998・6475 に郵送



募集します！ 所沢の文化芸術情報

過去から現在まで、次世代に残したい所沢の文化芸術情報をお寄せください。特に、時の経過とともに埋もれがちな、知る人ぞ知る「所沢の人やモノ」を歓迎します！
▶あの日確かにあった文化芸術 Scene
今に続くイベントや事柄はこうして始まった、こんな紆余曲折があった、など。
▶所沢ゆかりの文化人
既に知られる有名人以外にも、所沢はこんな偉才を生んだ・育んだ話など。
▶現代のキーワード
今、いち早く知らせたい、新しい所沢・動いている所沢の旬な話題・言葉など。
申 9月30日(金)までに応募用紙を市役所5階文化芸術振興課 ☎2998・9211 に提出
◎応募用紙は同課、まちづくりセンター、市HP(文化芸術)で入手できます。



募集

所沢第二幼稚園の新入園児を募集

対 次の全てに該当する幼児
▼平成24年4月2日〜25年4月1日生まれ▼申請日現在、市内在住▼保護者が徒歩で送り迎え可能▼通園時間が幼児の速度で約25分以内
定 70人
保 育 料 月額9,500円(入園料なし)
申 9月20日(火) 21日(水)午後1時30分〜4時に申請書を同園(荒幡)に直接
◎申請書は、9月1日(木)から同園、市役所6階学校教育課で配布します。募集人数に達しない場合は、期間後も同園で申請を受け付けます。
問 学校教育課 ☎2998・92308



目指せ!“幸”齢化①

高齢者支援課 ☎2998 - 9120

この連載は、幸齢化社会(幸せに歳を重ねることのできる社会)を目指すため、高齢者の不安や疑問にお答えする連載です。(全8回)

介護が必要になっても 自宅で暮らし続けるためには？



将来、介護が必要になっても自宅で暮らし続けることはできますか？

「住み慣れた自宅で暮らし続けたい」これは多くの人の願いですね！ホームヘルパーさんや配食サービス、お医者さんの診療訪問、住宅のバリアフリー化などを組み合わせて利用することで、介護が必要になっても多くの方が自宅で暮らすことができます。

さらに、ご近所同士でごみ出しを手伝ったり、買い物に付き添ったりして、助けが必要な方を地域の中で支え合えたら良いですね！



自宅での生活を続けるためには、地域の人たちとのつながりも大切ですね！

次号は「健康でいるためのコツって？」